

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埜田1-3-27 船田教育会館内 TEL028-621-9083 FAX621-3941



高等学校 平成19年度体育祭 [平成19年9月26日(水)]



同窓会の皆さんへ

同窓生の相互連携と交流の輪を。 会長 大淵 皓之

(高10回卒)

作新学院高等学校同窓会のみなさん、お元気ですか。同窓会のみなさんには日頃より、何かとお力添えをいただき、また同窓会の運営につきましては、様々なご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年は組織強化を目標に各部長をはじめ役員一同ががんばってまいりました。今年も引き続き組織強化を目標にしていきたいと思っております。

昨年文化厚生部は創立記念文化祭に参加し、同窓会のみなさんの協力を得て、バザーを開催。また秋には国会議事堂、皇居、日本銀行の貨幣博物館見学の研修旅行を行い、東京プリンスホテルにて食事をいただきました。

組織財政部は平成以降の若い同窓生の役員整備を行うと同時に、本年に向けて青年部会を創設し、親睦ボーリングやハイキング等を企画して、若い同窓生にも積極的に同窓会活動に参加していただき、会員相互の親睦と交流の輪を広げていきたいと、準備会にて打ち合わせを行っております。

総務企画部においては、恒例の新年会、新成人祝賀会に今年はアトラクションを企画しており、また新たに卒業後10年を迎える同窓生に「10年会」と称して集まっていたいただき、親睦と交流を図っていただきたく連絡をとりました。

広報部は同窓会の近況報告等、ホームページの内容強化と学校との連携も考えながら取り組んでおります。また年1回の同窓会報の発刊に向けて、がんばっております。

さらに本年は運動部、文化部のOB会、OG会が連絡を取り合い、連絡協議会等を立ち上げられればと考えております。各支部、職域、学年会、クラス会等の開催を支援しながら、会員相互の連携を深め交流の輪を広げて、お互いの親睦を図っていただきたいと思っております。

今後みなさんの益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



学院の春



建学の精神を再定義

作新学院 院長 船田 元

作新学院高等学校同窓会の皆さま、新年明けましておめでとうございます。またこの同窓会報が遂に20号という節目を迎えました。関係者皆さまのご努力に感謝いたします。

さて私ども作新学院は、創立以来今年で123年目を迎えることができました。創立者・船田兵吾をはじめとする先人の労苦の上に、多くの関係者のご理解とご支援があったればこそと、心から感謝しております。

我々私学を取り巻く環境は、留まるどころを知らない少子化傾向や、公的補助金の削減、さらにはコンプライアンスの徹底など、年々厳しさを増しています。しかしこのような時こそ建学の精神に立ち返って、他校との差別化をはかり、生徒や保護者から「選ばれる学校」を目指さなければなりません。

作新学院の建学の精神は「作新民」、すなわち「変化を遂げている世の中に役立つ、新しい人材を育成しよう」ということですが、変

化が激しければ激しいほど、新しい人材でも十分に力を発揮することは難しくなります。そこで我々は昨年「作新民」を次のように再定義しました。

「新しい人材」とは、単に新しい知識や技術、考え方をもち合わせているだけでなく、自ら考え行動することによって、常に最先端の知識や技術を吸収する能力を身につけた人材、つまり「新たに作る人材」を指すのだということです。

今年は再定義されて最初の年ですが、幼稚園から大学まで、この「新たに作る人材」の育成のために、教育内容は勿論のこと、教育制度の見直しまで踏み込んでいきたいと考えています。「新たなる人材」を育成するためには、学校そのものも変化しなければならないからです。同窓会の皆さまのご指導とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。



四半世紀を振り返って

作新学院高等学校 副院長 上野 隆 宏

私が勤務して最初に指示された仕事は、中等部の自立ということでした。昭和56年の生徒数は83人で、小学部の児童数は215人でした。小学部も中等部も1学年1学級の時代が定着していた時期でした。生徒・児童にとって良好な教育環境の一つとして、複数のクラス数にすることが最重要課題であるということです。

昭和58年に作新高等理容美容学院を戸祭に移転し、同年9月に中央館が完成しました。そして中等部に英進コースを設けました。中央館南側に中等部1学年2クラスの6学級が入り、北側には高等部の英進クラスが入りました。同じ年に幼稚園は3年保育を開始し、翌年の昭和59年には、小学部に英進学級を設けました。

小学部は昭和62年に2クラス制を開始し、6学年とも2クラス制が完成したのは平成4年でした。

そして、3クラス制を平成14年に開始して、平成19年に3クラス制が完成しました。

高等部では男子部・女子部にあった英進クラスを独立させて、昭和63年に英進部（英進科・進学科）を新設しました。一方中等部の拡充も素晴らしく、1学年5クラス態勢に対応できるよう、同年中等部校舎が完成しました。続いて高等部の男子部・女子部にあった実業系学科を統合して情報科学部（流通経済科・商業科・情報科・電気科・電子科・美術デザイン科）を平成3年に新設しました。しばらくたった平成15年に総合進学部（男子部普通科・女子部普通科を統合し男女共学）を開部し、学年進行制をとりました。この年学校名を作新学院高等部から作新学院高等学校へ改称しました。

ごあいさつ

作新学院高等学校 校長 佐藤 孝 明



同窓会員の皆様、新年おめでとうございます。

日ごろから、作新学院高等学校の教育にご理解とご協力を賜りありがとうございます。私は、平成18年度まで情報科学部長と副校長を兼務しておりましたが、19年度からは総合進学部^{おこ}に異動になりまして部長と校長を務めております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨今の高校教育界におきましては、昨年度の所謂未履修問題、そして今年度は、東北の高校とプロ球団との不透明な金銭の授受に端を発する野球特待生問題で紛糾しました。また、少子化の問題、そして不登校やいじめの問題など相変わらずで、誠に現代は教育にとって非常に難しい時代でございます。それだからこそ教育の中身を厳

しく問われる時代でもございます。このような状況の中で、作新学院高校は地域社会から選ばれる学校になるための努力を教職員一丸となって続けております。それは、作新学院の教育理念である「作新民」を「新たなる民^{おこ}を作せ」にとどまらず、「新たに作る民を作せ」（社会を変革する人材を育成する）という学院長先生の新しい解釈を作新学院高校のすべての活動、学習活動や特別活動の中にいかに具現化していくかという努力でもございます。

10万人を超える同窓会員の皆様の更なるご協力とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

平成19年度作新学院高等学校同窓会定時総会

同窓会 副会長 福田 弘子 (高7回卒)

日本で一番多い同窓生の数を誇る、作新学院高等学校の定時総会が平成19年6月22日午後6時より、宇都宮市戸祭元町の「アピア」で、船田元院長（衆議院議員）、上野隆宏副院長、英進部、総合進学部、情報科学部の各部長らを来賓に迎え、同窓会員約150人が出席し開催されました。

伴清副会長（高12回卒）の開会の言葉で始まり、学院歌「光みちたり」を高橋光男先生の指揮で2番までを、出席者全員で斉唱し、その後、物故者に対し黙祷を捧げました。そして、大淵皓之同窓会長（高10回卒）が「学校の先生方、及び同窓会の方々の団結が同窓会の一層の進展につながる」と挨拶をされ、高齢化しつつある同窓会の若返りを図るための考えなどを述べられました。続いて、ご多用の折にもかかわらずご出席下さいました船田元学院長から「学校と同窓会が一体化することによって、学校も同窓会も一層強化されるとともに、その輪も大きく広がっていくことでしょう」などの挨拶をいただきました。

その後渡辺幸雄（高44回卒）と、野中千鶴子さん（高



26回卒)を議長団に選出し議事に入り、事務局及び総務企画部会、組織財政部会、広報部会、文化厚生部から提出された18年度の決算・会計報告、19年度の予算・事業計画等について審議し、満場一致で承認されました。総会終了後、別室で懇親会を開催し、和田藤吾前会長乾杯の音頭のあと、各テーブルに用意されたお酒や料理をいただきながら、久しぶりにお会いした先生方や先輩・後輩たちとの和やかな歓談に入りました。そこで、鈴木勲事務局長（高6回卒）率いるハワイアンバンドが演奏を行うと、参加者は皆ハワイアン独特のリズムに、思い思いの懐かしき当時を振り返りながら、しばらくの間、その心地よい演奏に聞き入っておりました。このようなイベントが盛り込まれていることも、さすが我が誇りある作新ならではの、男女共同企画による同窓会総会であるなどあらためて感じ入りました。

最後にこの場をお借りして、ご教示いただきました先生方をはじめ、ご協力いただきました同窓生皆様方に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高神渡〔昭和45年卒〕

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

株式会社 落合東光園 (造園・土木)

代表取締役 落合 功〔昭和37年卒〕

上三川町川中子921 ☎0285-56-3751

(有)川口写真館

代表取締役 川口 修一〔昭和44年卒〕

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田陽介〔平成3年卒〕

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151



昨 年 度 卒 業 生 の 進 路 状 況

～ 京都大学・秋田大学(医)・東北大学などの難関国立大学に多数合格 ～

平成18年度、卒業生は1,478人であった。進路の内訳は、4年制大学に642人、短期大学に107人、専門学校(予備校を含む)に402人が進学し、就職・その他は327人であった。

平成19年度大学入試は18歳人口の減少にもかかわらず、4年ぶりに大学入試センター試験および私立大学の志願者は増加した。しかし、増加は一部の難関大学、大都市圏の大学に集中しており、それ以外の大学との二極化がさらに拡大した。

本校では、4年制大学・短期大学への進学率が50%を越えた。英進部については、在籍者の半数以上が国公立を目指して入試にチャレンジし、49人が合格した。また、総合進学部で8人、情報科学部で1人が合格を果たしている。各部ともに生徒の進学意識を高めるため、積極的に校外での「学習合宿」や大学の教職員を学校に招いた「進学相談会」および「出張講義」を企画・実施した。その結果が進学実績に現れ、国公立大学に58人、防衛大学校などの国立大学校に4人、私立大学に1,019人が合格した。主な合格大学は、京都大学・秋田大学(医)・東北大学・筑波大学・東京外国語大学・東京藝術大学・千葉大学・首都大学東京などの国公立大学、また私立大学では慶應義塾大学・国際基督教大学・立教大学・明治大学・東京理科大学などである。さらに、

医歯薬系大学には、医学部医学科3人・歯学部9人・薬学部26人と40人以上の合格者が出た。

専門学校については、県内・県外半々の進路状況であった。系統別では、自動車整備・ファッション分野を希望する生徒が増加し、医療看護系・幼児教育系への希望者は減少している。医療看護系減少の要因として、専門学校から4年制大学にシフトしていることが考えられる。

就職については、1年次からキャリアプランの指導を行い、自己理解、生き方、働くこと、職業と家庭生活等身近なところから人生設計を考えさせている。インターンシップも1年次から実施し、130余事業所に400名を越す生徒が就労体験をしている。また、企業からの求人応募に備え、外部講師による就職講話・公務員説明会・職業分野別ガイダンス・人事担当者による企業説明会のほか卒業生による職場説明会等を通じて、早くから職業選択に関する知識を学ばせ、関心を持たせた。夏季休暇中には、多くの生徒が猛暑の中を職場見学会に参加し、各自の希望する企業への入社意思をより強固なものにして、9月16日から一斉に開始された試験に備えた。厚生労働省によれば「景気回復や団塊世代の大量退職などで、企業の採用意欲が引き続き高い」との分析であった。確かに高校の求人は全国で前年同期7%増え、県内求人倍率も1.64倍となった。また、本校への求人募集企業数も789社(昨年719社)と増加した。企業は、これまでの出欠状況・学力試験・適性検査・通勤方法の他、コミュニケーション能力等も求めるようになってきた。生徒への「求人情報」は学内LANを利用してコンピュータで閲覧できるようにし、詳細な情報をスピード化して配信している。また、就職指導委員会は、県内の就職情報交換会や各種研修会に積極的に参加し、資料収集と状況分析、独自の求人開拓などを行っている。このような指導と早期対策が功を奏し、就職希望者317名全員が目標を達成したことは喜ばしい限りである。

平成18年度 卒業生進路一覧

部・学科	進路	卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校	就職・自営
						(含む予備校)	
英進部		294	232	532	19	41	2
総合進学部	大学進学系列(特進選抜コース)	97	86	203	3	6	2
	大学進学系列	332	238	256	62	30	2
	専修進学系列	266	28	28	2	181	55
	キャリア系列	131	0	0	0	15	116
	計	826	352	487	67	232	175
情報科学部	ビジネスサイエンス科	92	16	16	3	18	55
	コンピュータサイエンス科	70	16	16	3	24	27
	電気・電子システム科	80	10	10	0	29	41
	美術デザイン科	64	15	15	6	33	10
	ライフデザイン科	52	1	1	9	25	17
	計	358	58	58	21	129	150
合計		1478	642	1077	107	402	327

元氣の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)

理事長 角田 和之

施設長 角田 充由〔平成5年卒〕

宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

県内屈指の「電子申告推進事務所」

税理士法人 尾花会計パートナーズ

代表社員・税理士 尾花 一浩〔平成元年卒〕

社員・税理士 尾花 兼司〔平成2年卒〕

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

TEL 0289-62-8345 FAX 0289-62-8346 URL <http://j-obana.tkcnf.com/>

ご成人おめでとうございます。英進部

ご活躍を祈念しております。 成人式を迎えられました皆様に、心からお祝い申し上げます。

皆様が作新学院を卒業して、早いものでもう2年が経とうとしています。入学した年は、英進部にとって大きな改革の年でした。新たにコース制を導入し、「中高一貫」「国立選抜」「国・私立」の3つのコースが作られました。また、サテライト授業をはじめとする様々な教育内容がスタートしました。その本学の生活で皆様が残した輝かしい軌跡は、今も脈々と後輩に引き継がれています。

今、社会は「少子化」「高齢化」「地球温暖化」「原油高」など多くの問題を抱えており、皆様が歩む道も平坦ではないでしょう。時には様々な困難にぶつかり、挫折をしかけることもあるかと思いますが、そのような時、本学で過ごした3年間で培った自信と誇りを胸に、勇気を奮い起こして新たな道を切り拓いて欲しいと思います。また、決して自分を見失うことなく、進むべき方向を目指し、夢に向かって邁進することを願っています。

皆様のこれからの活躍を心からお祈り致します。

平成17年度英進部 第3学年主任 阿見 勉



平成17年度卒業時の3学年担任の先生方

今年成人(20歳)を迎えられる卒業生の皆様へ



平成17年度卒業時の3学年担任の先生方

ご成人おめでとうございます。総合進学部

お祝いの言葉。 今年成人になられました皆様、誠におめでとうございます。

皆様が入学されたのは、男子部と女子部が発展的に統合され男女共学の総合進学部が発足した年でした。今から5年前のことになります。それぞれの希望で、「大学進学系列」「専修進学系列」「キャリア系列」に分かれ、勉強に部活動にと精一杯頑張りました。色々な思い出のあった3年間でしたが、今振り返ってみると、あっという間の出来事であったような気がします。

卒業してから既に2年近くがたち、この度、晴れて新成人となられたわけですが、このことは、社会に対して重い責任が生じたということ、社会人としての自覚が要求されるということでもあります。これからの人生において、色々な困難に直面するかと思いますが、総合進学部で学んだ3年間を思い出して、チャレンジ精神を忘れずに、乗り切ってほしいと願っています。

これからの活躍を祈念してお祝いの言葉に代えさせていただきます。

平成17年度総合進学部 第3学年主任 安西 幸男

金田商会
 代表取締役 金田 眞 麒〔昭和35年卒〕
 宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

荒川歯科クリニック
 理事長 荒川 敏 明〔昭和48年卒〕
 宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

作新学院 親交会
 会長 荒井 祥
 宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

(有) 朋友塗装工業 (建築・塗装・吹付工事)
 代表取締役 小野 朋 之〔昭和61年卒〕
 宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
 FAX 028-639-7220

作新学院高等学校 P・T・A
 会長 浅川 信 明
 宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

(有) 泉 商 販 (全国有名味噌特約店)
 代表取締役 大木 利 夫〔昭和35年卒〕
 宇都宮市御幸本町4736-34 ☎028-613-1818

合資会社 鱒 淵 材 木 店
 無限責任社員 鱒 淵 貢
 建 築 部 小 牧 英 夫〔昭和56年卒〕
 宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261
 E-mail: masu3261@snow.ucatv.ne.jp/

(株) 大 貫 商 店 (紙一式)
 早乙女 ヒロ子〔昭和21年卒〕
 宇都宮市二荒町9-3 ☎028-634-4131

ご成人おめでとうございます。

情報科学部

成人される皆さんへ。卒業してからそれぞれの道に進まれ、早2年が過ぎようとしています、充実した日々を過ごされていますか。就職された方は3年目に入り、職場になれて緊張感がやや薄れがちになる頃ですね。新しい発見や仕事および生活の充実に努め惰性で日々を過ごすことのないように心がけてください。短期大学・専門学校に進まれた方は社会人デビューの年となりますが、学んだことをしっかり生かせるよう知識・技術にさらなる磨きをかけてください。大学に進まれた方はいよいよ学ぶ内容が専門分野となりますね。卒業時素晴らしい結果によって社会に巣立terよう悔いの残らぬ努力をしてください。

世の中は何かにつけ不安定になっており、速い速度で変化していますので、しっかり先を見る目を養い、幸せで意義ある人生を送ってください。

平成17年度情報科学部 第3学年主任 中山 幹明



平成17年度卒業時の3学年担任の先生方

株式会社
Roo 企画装飾

代表取締役会長 関 正三〔昭和24年卒〕
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32
TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田勝春〔昭和35年卒〕
宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266

伴印刷株式会社

<http://www.bannet.com/>

代表取締役 伴 清〔昭和35年卒〕
常務取締役 伴 誠〔昭和62年卒〕
宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901

「割烹弁当」の新社

<http://www.shinza.co.jp/>

代表取締役 鈴木郁夫〔昭和24年卒〕
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337
パンフレットをお送り致します。ご連絡をお待ち致します。

作新学院 退職教職員 会研修旅行

**親睦を兼ねた19年度の研修旅行が10月5日(金)
に実施され、塩釜・多賀城方面を訪ねました。**

小川 純孝 (高昭29年卒)

今年度の参加者は26名でした。陸奥国一之宮塩竈神社に詣で、家内安全・旅の安全を祈願し、昼食はすしの名店「すし哲」で、天然の味にこだわったおいしいすしを堪能しました。昼食の席は、1年ぶりの再会で話題は尽きませんでした。

午後は、小倉百人一首で知られる有名な歌枕(古歌に詠み込まれた名所)の地「末の松山」・「沖の石」を訪ねました。小倉百人一首は郷土とも関係が深く、藤原定家が親交の深かった宇都宮5代城主宇都宮頼綱(法名蓮生)の依頼で、古代から中世にかけての名高い歌人百人を選び、その秀歌を色紙に書いて頼綱に贈ったのが始まりと言われています。頼綱は歌人としても知られ、京都郊外の嵐山近くの嵯峨中院に山荘を持ち、山荘の襖に貼る色紙を定家に依頼したのです。頼綱の娘は定家の長男為家に嫁ぎ、縁戚関係にありました。

多賀城跡を訪ねる前に「東北歴史博物館」で

多賀城に関する予備知識を得、多賀城跡の南にある多賀城碑を見学しました。多賀城碑は、那須国造碑(栃木県)・多胡碑(群馬県)とともに、日本三古碑の一つに挙げられています。多賀城碑は、西暦762(天平宝字6)年に多賀城の大改修を行った藤原恵美朝臣朝鸞の功労を顕彰するために建てられた顕彰碑です。朝鸞は時の権力者藤原仲麻呂(恵美押勝)の子で、父仲麻呂の絶大な力を背景に、陸奥守・按察使・鎮守府將軍三官すべてを兼任していました。しかし多賀城碑が建てられて1年9ヶ月後、西暦764(天平宝字8)年、父の仲麻呂は弓削道鏡との権力闘争に敗れ、妻子ともに斬罪に処せられました。朝鸞も処刑されたものと思われます。

多賀城は、古代律令政府により陸奥国の国府が置かれたところで、奈良・平安時代の東北地方の政治・軍事・文化の中心地でした。夕刻、再会を約束し、帰路に着きました。



有限会社 インテリアアール タカノ
高野 博子〔昭和26年卒〕
宇都宮市上戸祭3-3-2 ☎028-643-6231

(有)カーパートナーTM
増 淵 研 二〔昭和48年卒〕
宇都宮市下栗町2277-6 ☎028-656-4713

元氣の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)
事務長 大久保 好枝〔昭和39年卒〕
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

イマイズミ(宝石・貴金属)
<http://www.imaizumi-j.com/>
代表取締役 今 泉 臣 夫〔昭和37年卒〕
宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

吹奏楽部が夢の舞台・普門館で演奏

書道部・かるた部も全国・関東で上位に入賞

文化 部

吹奏楽部は、第13回東関東吹奏楽コンクール高校A部門において金賞を受賞し、横浜創英中学・高校（神奈川県）、市立船橋高校（千葉）とともに東京都杉並区の普門館で行われた第55回全日本吹奏楽コンクール（「吹奏楽の甲子園」とも言われる全国大会）に出場した。



全日本吹奏楽コンクール銀賞の吹奏楽部

同コンクールは中学、高校、大学、職場・一般の部からなり、吹奏楽人気の高まりから、今年は約10,700の参加団体があった。全国大会に出場できたのは、わずか93団体。うち高校の部では29校だけであり、「普門館」に出場することは全国の吹奏楽部に所属する生徒の憧れであり、目指す場所でもある。本校吹奏楽部は県勢として8年ぶりの出場（前は99年の本校と今市高）。部員たちは「普門金」（普門館で金賞をとる）を目標として掲げ、普門館の広さ対策として屋外での練習を取り入れたり、「遠くまできれいに音を響かせる」という基本的な練習を積み、コンクールに臨んだ。29校中最後の演奏ということもあり、プレッシャーも感じたであろうが、課題曲の「憧れの街」（南俊明）、自由曲の「三つのジャポニスム」（真島俊夫）を平常心で

演奏した。念願の金には届かなかったが堂々の銀を受賞。晴れの舞台に立て、最高の演奏を会場に響かせた。

書道部では創玄書道会主催の第44回全国競書大会



毎日新聞社賞の池野谷(左)・東京都教育委員長賞の小林(右)

において多くの生徒が入選した。特別賞の中で東京都教育委員長賞に小林隆紀が、毎日新聞社賞に池野谷聡美が、学年優秀賞に阿久津祥、全国競書大会委員長賞に鈴木佐知・中村彩華、推選に太田あゆみがそれぞれ輝いた。また、優秀団体賞も合わせて受賞した。第41回高野山競書大会（総本山金剛峯寺主催）では、特別賞の中の審査委員長賞に坂本香玲夢、高野山書道協会賞に菊池咲貴子、斎藤瑞加が入選した。坂本・斎藤は第31回毎日全国学生書写書道展においても坂本が毎日準大賞に、斎藤が書写検会長賞に輝いた。の第16回国際高校生選抜書展（毎日新聞社・財団法人毎日書道会主催）でも小林・坂本・菊池・斎藤に加え、寺西由貴・中島光の6人が入選を果たす活躍であった。

かるた部では第14回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会において、県の選抜チームに選出された若林謙・長岡修平の属する栃木Aチームが3位と健闘した。関東は選手の層が厚いため、厳しい大会であったが、県勢としても3位はこれまでで最高の成績であり、また、Bチームも4位に入賞（敢闘賞を受賞）と、県全体のレベルアップがうかがえた。

株式会社 寿屋（設備器機販売施工）
ライフア宇都宮東（INAXリフォーム）
代表取締役 齋藤貞夫〔昭和41年卒〕
宇都宮市瑞穂1-15-11 ☎028-656-6613

(有)坂本商店（業務用青果・漬物製造卸）
代表取締役 坂本 昭〔昭和31年卒〕
宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003
FAX 028-632-9148

昭和車輛(株)（重機の修理・販売）
代表取締役 坂本 功 樹〔昭和50年卒〕
宇都宮市上大曾町348 ☎028-624-8553

御菓子司 株式会社 枳 金
<http://www.masukin.com/>
大 淵 皓 之〔昭和33年卒〕
宇都宮市平曲師町3-9 ☎028-633-2769

世界を駆ける自転車競技部

山岳・水泳・空手道・軟式野球・ゴルフの各部も活躍

運動部

自転車競技部は、2007年全国高校総合体育大会（インターハイ）の1kmタイムトライアルで1分8秒382のタイムを出した長島大介が見事優勝した。チームスプリント（鈴木近成・磯田旭・長島大介）決勝では岐阜一高に僅差で及ばず、準優勝となった。第62回国民体育大会（秋田わか杉国体）において少年男子スプリントに出場した雨谷一樹は準優勝であった。また、少年男子1kmタイムトライアルに出場した長島大介も1分8秒387で



日本代表の雨谷・針谷（下野新聞社提供）

インターハイにつぐ好タイムを叩き出し、準優勝に輝いた。ジュニア選手権自転車競技大会の日本代表に選ばれた雨谷と針谷千紗子はともにロンドン五輪ジュニア強化指定選手でもあり、将来を期待されている。タイのバンコクで開催した第14回ジュニアアジア選手権自転車競技大会では男子スプリントで雨谷一樹が2位に入り、銀メダルを獲得した。また雨谷は男子チームスプリントのメンバーとして走り1分5秒414のタイムで金メダルに輝いた。女子2km個人追い抜き・ポイントレースに出場した針谷は2種目とも6位と健闘した。

山岳部では、国体に栃木県選抜として臨んだ松本充（ほか宇北高・真岡北陵高）が、少年男子クライミングで2位との差を大きく広げ、78.409という得点で優勝した。

水泳部ではインターハイの男子200mバタフライ・男子400m個人メドレーに出場した森洋介がそれぞれ

で準優勝を飾った。また森は国体において少年男子B200mバタフライに出場し2分0秒22の大会新記録で見事インターハイでの森優勝した。また少年男子B400m個人メドレーでは大会新を出した武南高（埼玉）の鮫島に敗れたが準優勝と健闘した。少年男子B400mリレーにおいては高野・岡田・森（以上作新）、菊地（大田原高校）のメンバーで決勝に進み、3位に入賞した。



インターハイでの森（下野新聞社提供）

空手道部では、インターハイ男子団体組手において栃木県勢として31年ぶり、創部15年にして初の3位入賞となった。また男子学校対抗においても3位入賞を果たした。

軟式野球部は、第48回秋季関東高校軟式野球大会において、2年ぶり13度目の優勝に輝いた。エース渡部翔大の力投により初戦の対江北高（東京）ではノーヒット・ノーランを、準決勝では世田谷学園高（東京）に対し完全試合を達成し、迎えた決勝では、向上高（神奈川）を2-1の接戦で下し、優勝を手にした。

ゴルフ部は個人の活躍が顕著であった。百瀬力弥は日本ジュニア選手権において8位、第42回知事盃争奪ゴルフ競技大会一般男子では史上最年少・大会最小スコアで優勝した。梅山知宏は2007フジサンケイジュニアクラシックゴルフ選手権大会にて優勝。第42回県知事盃争奪ゴルフ競技大会ジュニアの部においても優勝した。また、第21回県アマチュアゴルフ選手権大会では久我悠太郎が優勝している。個人の活躍が集結した結果、関東高校ゴルフ選手権における団体2位（久我・渡辺・梅山・百瀬）、百瀬・久我・渡辺の3人で臨んだ国体少年男子では団体4位入賞を果たした。

（株）安藤設計（一級建築士事務所）

<http://www3.ocn.ne.jp/~andoarc/>

代表取締役 安藤 英夫〔昭和43年卒〕

専務取締役 安藤 寛樹〔昭和45年卒〕

宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

花と園芸

（株）藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝〔昭和35年卒〕

宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

東野観光（株）（旅のことなら）

斎藤 操〔昭和37年卒〕

高梨 義久〔平成3年卒〕

宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

作新経済同友会

会長 和田 藤吾〔昭和24年卒〕

〔事務局〕宇都宮市今泉3-12-30 新三（内）

部会
活動
報告

文化祭・同窓会バスツアー

文化厚生部 部会長 齋藤 貞夫 (商9回卒)



作新学院創立122周年記念文化祭が昨年9月29日(土)、30日(日)の両日、学院内にて開催されました。今年も餃子コーナー(新三さん出展)には大勢のお客様が集まり大盛況でした。その他の販売コーナーでも新米や初産卵が大変好評で、早々に完売。また毎年恒例でありますバザーも、皆様からたくさんのご寄付の品々で好評のうち完売しました。販売活動で得た売上金は貴重な部会運営資金として、これからも大切に活用してまいります。開催にあたりご協力いただいた部会・役員・同窓会事務所の皆様に心よりお礼申し上げます

平成19年11月18日に実施されました同窓会主催の「国会議事堂見学バスツアー」は参加者62名、バス2台で出発。当日はこの冬一番の冷え込みではありませんでしたが、日中は終始天候に恵まれ、過しやすい一日でした。

国会の内部見学においては、何度か行かれた方も「衆議院」の見学は初めてという方が多数で、大変ご好評をいただきました。本会議場や各委員会室も見学、赤絨毯の上を歩きながら、国産の大理石を使用した由緒ある重厚な建物を目の当たりにし感激しました。

次に日本銀行貨幣博物館を見学。多数の貨幣が陳列されており、精密精巧に描かれたお札は芸術品でした。12時40分頃、昼食会場「東京プリンスホテル」へ到着。その時サプライズがありました。この日は東京国際女子マラソンが行われており、丁度ホテル前をトップ集団が通過すること。急遽、沿道応援に参加し、参加者の多くの方々が、野口選手と渋井選手を応援することが出来ました。本当に貴重な経験でした。

感動も覚めやまぬまま、いよいよ評判の東京プリンスホテルバイキングへ。牛肉のステーキや鮪の刺身、和洋折衷の料理が多種並び、デザートの種類も充実で、ケーキを7種類召し上がった方もいらっしゃいました。

最後に今度はハプニングです。皇居を見学予定でしたが、あいにくの東京国際女子マラソンの影響で渋滞に巻き込まれ断念。車中からの皇居見学へ変更になりました。下調べ不足ではありましたが、サプライズとハプニングで、皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、我々の応援の甲斐もあってか、野口みずき選手が無事優勝されました。参加者の皆様、お疲れさまでした。部会より御礼申し上げます。

新年祝賀会参加のお誘い

大淵会長は就任以来同窓会の活性化を強く訴えて参りました。年1回の総会でも、一般の同窓生の参加が少なく、若い人の参加もほとんどありません。毎年1月に行われる新成人祝賀会は先生方のご協力で成人者が300名ほど参加いただいております。今年は、この会を卒業して10年を経た同窓生に声をかけてみてはと、現在28歳となる卒業生2,700名の方に案内状を発送しました。1月12日の新年祝賀会に多くの同窓生が参加して

いただけるのを楽しみにしております。

今後を模索しながら、この10年を続けたいと考えています。また同窓会青年部立ち上げの準備も進めており、多くの若い同窓生に一校一家の精神を思い出していただき、作新学院同窓会の更なる発展をと考えております。

同窓会幹事長 安藤 寛樹 (高22回卒)

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp>
作新学院高等学校同窓会公式サイト